

平成 24 年 12 月 26 日		於：岐阜経済記者クラブ	
所 属		担 当 者	電 話 番 号
経営支援部	調査研究担当	高木 誠	0 5 8 - 2 7 7 - 1 0 8 5

「岐阜県の景況調査（2012 年 第 4 四半期）」

概況：景況感は2期連続で低下するものの、先行きには明るさが見られる。

今回の調査結果の概要

景況DIは、製造業で18.6ポイント、非製造業で5.1ポイント低下し、2期連続して低下となった。

製造業では、欧州問題や中国経済の減速に伴う海外経済の下振れや、円高や輸出減の影響による低下、とりわけ自動車関連では、エコカー補助政策の終了による生産調整も影響し低下した。業種別では、全業種で低下し、特に「木材・家具」は前回の反動で大きく低下したが、「繊維・衣服」、「金属製品」は小幅な低下となった。

非製造業では、「卸売」が上昇に転じたものの、それ以外の業種は低下した。

来期の景況DIは、最近の円安傾向、住宅着工戸数の増加など内需拡大の動きが見られることから、「建設」を始めとして多くの業種で上昇を予想している。

生産活動に関わるDIでは、製造業が売上、輸出、生産、受注の全てのDIで低下したものの、非製造業では売上、生産、受注の全てのDIで上昇し明暗が分かれた。来期の見通しについては、製造業、非製造業ともに売上、輸出、生産、受注の全てのDIで低下を予想している。

販売活動に関わるDIでは、販売価格DIが製造業、非製造業ともに上昇したが、仕入価格DI、採算DIは製造業で低下、非製造業で上昇した。来期の見通しは、仕入価格DIが製造業、非製造業とも低下し、販売価格DIは、製造業が横ばい、非製造業が低下を予想している。採算DIは、製造業で上昇、非製造業は低下し、全体では低下を予想している。

資金繰りDI、借入れ難易感DIは、製造業で悪化、非製造業は改善した。来期の見通しについては、資金繰りDIは製造業で改善、非製造業で悪化、借入れ難易感DIは、製造業、非製造業とも悪化し、全体では悪化を予想している。

設備投資実施状況は全体で23.9%となり、実施率が3.2ポイント上昇するものの、依然低い水準である。目的は「補修・更新」の割合が多く、「省エネルギー」は低下した。設備投資意欲DIは、製造業が上昇、非製造業は低下した。来期の見通しは、設備投資実施予定が全体で22.4%となり、実施率も1.5ポイント低下、設備投資意欲DIは、製造業は上昇、非製造業では低下し、全体で0.6ポイントの低下を予想している。

雇用DIは、製造業が「過剰感」の維持、非製造業が「不足感」の上昇となったが、全体では「不足感」が上昇した。来期の見通しは、製造業は「過剰感」の上昇を、非製造業では「不足感」の低下を予想し、全体では「不足感」の低下を予想している。

D I 別の状況

景況D Iは、全体で9.4ポイントの低下となり、2期連続で低下となった。製造業は18.6ポイント低下し、非製造業も5.1ポイント低下した。製造業では「木材・家具」(46.6ポイント低下)、「窯業土石」(38.8ポイント低下)、「化学・プラスチック」(22.3ポイント低下)、「機械」(21.7ポイント低下)が大幅に低下するなど全業種で低下した。非製造業では「卸売」(8.4ポイント上昇)が上昇した以外は、「飲食店」(16.7ポイント低下)、「サービス(余暇関連)」(13.5ポイント低下)、「運輸・通信」(12.9ポイント低下)、「小売」(10.3ポイント低下)が大幅に低下した。来期は製造業(4.5ポイント上昇)が上昇、非製造業(1.3ポイント低下)は低下し、全体では0.6ポイント上昇の見通しとなる。

売上高D Iは、全体で1.3ポイント上昇した。製造業は13.7ポイント低下となったが、非製造業では8.6ポイント上昇した。製造業では「繊維・衣服」(25.0ポイント上昇)、「木材・家具」(11.3ポイント上昇)は大幅に上昇したが、「窯業土石」(43.1ポイント低下)、「紙・パルプ・印刷」(18.2ポイント低下)、「機械」(17.8ポイント低下)、「化学・プラスチック」(16.7ポイント低下)、「金属製品」(11.9ポイント低下)が大幅に低下した。非製造業では「サービス(企業関連)」(3.1ポイント低下)が低下した以外は全て上昇した。特に「運輸・通信」(37.4ポイント上昇)、「卸売」(29.9ポイント上昇)、「サービス(余暇関連)」(11.1ポイント上昇)が大幅に上昇した。来期は製造業(4.8ポイント低下)、非製造業(13.9ポイント低下)とも低下し、全体では10.9ポイント低下の見通しとなる。

輸出向け売上高D Iは、全体で10.9ポイント低下した。業種別では「紙・パルプ・印刷」(50.0ポイント上昇)、「繊維・衣服」(16.7ポイント上昇)が大幅に上昇するが、「機械」(25.1ポイント低下)、「金属製品」(19.3ポイント低下)が大幅に低下した。来期は「食品」(20.0ポイント低下)が大幅に低下する見通しであり、全体では5.3ポイント低下の見通しとなる。

生産量D Iは、全体で3.0ポイント低下した。製造業で6.3ポイント低下したが、非製造業では5.6ポイント上昇した。製造業では「食品」(33.3ポイント上昇)、「繊維・衣服」(17.3ポイント上昇)が大幅に上昇したが、「窯業土石」(28.8ポイント低下)、「機械」(16.8ポイント低下)が大幅低下した。来期は全体で3.9ポイント低下の見通しとなる。

受注量D Iは、全体で0.7ポイント低下した。製造業は12.0ポイント低下したが、非製造業では4.8ポイント上昇した。製造業では「繊維・衣服」(36.7ポイント上昇)が大幅に上昇したが、「窯業土石」(29.3ポイント低下)、「化学・プラスチック」(22.2ポイント低下)などが大幅に低下した。非製造業では「サービス(余暇関連)」(12.6ポイント上昇)、「小売」(11.4ポイント上昇)が大幅に上昇し、「卸売」(9.7ポイント上昇)、「運輸・通信」(7.4ポイント上昇)と続く。「飲食店」(8.3ポイント低下)、「サービス(企業関連)」(4.8ポイント低下)は低下した。来期は全体で7.2ポイント低下の見通しとなる。

在庫量D Iは、全体で5.2ポイント低下した。製造業は7.1ポイント、非製造業でも3.5ポイント低下となった。製造業では「化学・プラスチック」(11.1ポイント上昇)が大幅に上昇したが、「窯業土石」(25.4ポイント低下)、「金属製品」(25.0ポイント低下)、「食品」(18.1ポイント低下)、「木材・家具」(14.8ポイント低下)が大幅に低下した。来期は製造業が1.1ポイント上昇するが、非製造業では3.7ポイント低下し、全体では1.3ポイント低下の見通しとなる。

製品販売価格D Iは、全体で1.2ポイント上昇した。製造業は3.1ポイント、非製造業が0.3ポイント上昇した。製造業では「食品」(22.2ポイント上昇)、「木材・家具」(19.3ポイント上昇)、「窯業土石」(17.6ポイント上昇)、「繊維・衣服」(15.4ポイント上昇)が大幅に上昇したが、「化学・プラスチック」(16.6ポイント低下)が大幅に低下した。非製造業では「卸売」(16.4ポイント上昇)、「小売」(11.0ポイント上昇)が大幅に上昇したが、「建設」(21.6ポイント低下)が大幅に低下した。来期は、全体で0.9ポイント低下の見通しとなる。

原材料仕入価格DIは、全体で0.1ポイント低下した。製造業で6.2ポイント低下したが、非製造業では2.7ポイント上昇した。製造業では「化学・プラスチック」(22.2ポイント低下)、「紙・パルプ・印刷」(13.3ポイント低下)は大幅に低下した。非製造業では「卸売」(10.8ポイント低下)が低下したが、「飲食店」(35.0ポイント上昇)、「運輸・通信」(18.6ポイント上昇)、「サービス(余暇関連)」(17.0ポイント上昇)が大幅に上昇した。来期は全体で0.4ポイント低下の見通しとなる。

採算DIは、全体で0.9ポイント上昇した。製造業で4.1ポイント低下したが、非製造業では3.3ポイント上昇した。製造業では「木材・家具」(37.5ポイント上昇)、「紙・パルプ・印刷」(12.4ポイント上昇)は大幅に上昇したが、「金属製品」(12.9ポイント低下)、「繊維・衣服」(11.9ポイント低下)、「化学・プラスチック」(11.8ポイント低下)、「機械」(11.7ポイント低下)は大幅に低下した。非製造業では「飲食店」(25.0ポイント上昇)、「卸売」(14.5ポイント上昇)、「運輸・通信」(13.0ポイント上昇)が大幅に上昇した。来期は、製造業が1.2ポイント上昇するが、非製造業は5.8ポイント低下となり、全体で3.5ポイント低下の見通しとなる。

資金繰りDIは、全体で0.5ポイント改善した。製造業では3.2ポイント悪化したが、非製造業では2.4ポイント改善となった。製造業では「窯業土石」(8.7ポイント改善)、「食品」(5.6ポイント改善)の改善以外は悪化した。特に、「繊維・衣服」(13.5ポイント悪化)が大幅に悪化した。非製造業では「建設」(5.4ポイント悪化)、「運輸・通信」(4.9ポイント悪化)以外の業種は改善した。来期は、製造業が4.0ポイント改善、非製造業は6.2ポイント悪化し、全体では2.7ポイント悪化の見通しとなる。

借入れ難易感DIは、全体で1.8ポイント改善した。製造業で4.2ポイント、非製造業で0.7ポイント改善した。製造業では「紙・パルプ・印刷」(13.7%改善)、「化学・プラスチック」(11.2ポイント改善)は大幅に改善した。「木材・家具」(10.0ポイント悪化)は大幅に悪化した。非製造業では「卸売」(11.8ポイント改善)、「サービス(余暇関連)」(6.6ポイント上昇)は改善したが、「飲食店」(10.5ポイント悪化)、「運輸・通信」(9.5ポイント悪化)は悪化した。来期は、製造業が4.1ポイント、非製造業は4.7ポイント悪化となり、全体では4.5ポイント悪化の見通しとなる。

設備投資実施(%)は、全体で3.2%上昇した。製造業では5.2%、非製造業では2.0%上昇した。製造業では「木材・家具」(42.0%上昇)、「紙・パルプ・印刷」(29.0%上昇)、「食品」(11.1%上昇)が大幅に上昇したが、「化学・プラスチック」(11.1%低下)は大幅に低下した。非製造業では、「サービス(余暇関連)」(14.7%上昇)、「飲食店」(10.0%上昇)は大幅に上昇したが、「卸売」(3.9%低下)、「運輸・通信」(2.3%低下)などは低下した。来期は、製造業が5.6%低下するが、非製造業では0.5%上昇となり、全体では1.5%の低下の見通しとなる。

設備投資意欲DIは、全体で2.6ポイント低下した。製造業では3.9ポイント上昇し、非製造業では5.8ポイント低下した。製造業では「食品」(39.9ポイント上昇)、「木材・家具」(28.4ポイント上昇)、「繊維・衣服」(23.6ポイント上昇)、「紙・パルプ・印刷」(11.4ポイント上昇)が大幅に上昇したが、「金属製品」(30.0ポイント低下)、「化学・プラスチック」(11.1ポイント低下)は大幅に低下した。非製造業では「建設」(16.2ポイント低下)、「運輸・通信」(14.0ポイント低下)、「卸売」(9.8ポイント低下)は大幅に低下した。来期は、全体で0.6ポイントと低下の見通しとなる。

雇用DIは、全体では2.5ポイント低下し「不足感」が上昇した。製造業は0.1ポイント低下し「過剰感」が低下した。非製造業は4.0ポイント低下し「不足感」が上昇した。来期は、製造業が3.5ポイント上昇し「過剰感」が上昇、非製造業では3.8ポイント上昇し「不足感」が低下、全体では3.7ポイント「不足感」が低下する見通しとなる。